

# 平成 29 年度事業活動実績報告

## I. 公益事業報告

### (1) パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

#### 1) 調査研究事業

##### (a) 調査研究及び WEB サイト用資料の作成

29 年度は新たな調査を行わなかったが、前年度行った調査結果をまとめた小冊子を作成し、全会員に案内した。前回は法人会員が対象であったが、法人会員の協会に対する大きなニーズは「トレンド研究会」の実施にあることがわかった。

また、WEB サイトではこれまで通り「情報の森」内の記事追加・更新を行い、積極的に情報を発信した。

##### (b) 調査研究成果の発表

上記の法人会員のニーズに焦点を当て、今話題になっている「暮らしになじむロハコのパッケージデザイン」を取り上げた「トレンド研究会」を実施し、参加者から高評価を得た。

開催日時：平成29年10月25日(水) 16:00～19:30

開催場所：東洋インキ株式会社 29F大会議室

出席者数：116 名（会員 97 名、一般 17 名、学生 2 名）

#### 2) アーカイブ事業

昨年より総務の中にあつた「D-8 デザインミュージアムへの対応と JPDA 独自資料のアーカイブ化」事業をアーカイブ委員会として独立させた。

29 年度は過去の入賞作品の収集を継続しつつ、12 月に WEB サイトでの独自サイトが立ち上がり、作品情報の充実化に努めた。

また、パッケージデザイナーのデザインに対する思い、制作にまつわるエピソード、残したい技術や知識等を、デザイナー本人の声・映像・テキストで記録・保存し、JPDA の資産とする活動である「声のアーカイブ」をスタートさせた。

D-8 関連では、ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会に積極的に参加した。

#### 3) 広報事業

##### ・広報誌「Package Design」発行

資料価値の高い広報誌「Package Design」を 2 回（26 号・27 号）発行した。特集記事としての「気になる会社インタビュー」、「My Collection Identity vol.1・vol.2」に加えて、26 号では 2 月にご逝去された前副理事長田川雅一氏を偲んで開催されたパネルトークの記事を、27 号では 9 月にご逝去された鹿目尚志氏の特集記事を掲載した。

また、会員紹介の「メンバーズボイス」を柱に、事業活動報告、委員会活動報告、新入会員紹介等を掲載した。

広報誌とは別に、各委員会の平成 29 年度事業スケジュールと委員会メンバーを紹介する年間事業カレンダーを 6 月に発行した。

#### 4) インターネット事業

##### ・インターネット、メールメディアによる JPDA プロモーション活動とマイワークスの運営

協会ウェブサイト(一般/会員)やマイワークスの企画運営に加え、インターネットを活用した迅速な情報の発信と定期的なメルマガ発信、SNS 活用による一般への情報発信を行った。また、ウェブサイト等の

情報発信機能強化とホームページ掲載情報の更新を行うと共に、第36回通常総会決議事項等を公開した。

経済産業省の音頭でスタートした「ジャパン デザイナーズ」(デザイン分野を横断する全国規模のデザイナーズ データベース) のD-8全体での登録状況が伸び悩み状況にあったため、技術的な運営を株式会社 Too.に委託することとなった。各協会間の進捗共有化はD-8 運営会議で都度行っていく予定。

## (2) パッケージデザインに関する公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業

### 1) コンペティション事業(日本パッケージデザイン大賞)

29年度は平成30年のコンペティションに向けた内容検討・諸準備の年であった。

次回の変更点は、いままでのペーパーによる応募方式から、WEBからの応募方式に変更したこと、また、審査の手順、採点方法の見直しを行ったこと等があげられる。一方、前回導入した、食品、飲料等の5カテゴリーで、販路の違いによる商品性格の違いに対応した審査を実施することは継続することとした。

<平成30年度のパッケージデザイン大賞スケジュール>

応募登録期間 : 平成30年5月7日～5月31日 (WEB開設は4月20日)

作品提出期間 : 平成30年6月25日～7月17日

審査日 : 平成30年8月27・29日

贈賞式 : 平成31年1月下旬

## (3) パッケージデザインに関する展覧会事業

### 1) 展覧会事業

28年度(2016年)の創作展「日本を包む」展 ---うつくしい日本語のパッケージ--- に続く、第2弾の展覧会開催に向け、企画・運営準備と公募要項の作成・印刷等を行った。

タイトルは「言葉はなくても伝わる 感じるパッケージデザイン展」とし、

- ・日本語がわからなくても海外の方にもとどくデザイン
- ・目が不自由の方にも響くフォルムやテクスチャー
- ・見ただけで柔らかさや硬さが伝わるカラーリング
- ・言葉をもたないからこそ、感じられる何か

などを自由に表現するパッケージをテーマにした創作展を開催する。

<平成30年の創作展スケジュール>

開催日時 : 京都展 平成30年10月4日～11日

東京展 平成30年12月18日～30日

開催場所 : 京都展 しまだいギャラリー

東京展 渋谷ヒカリエ8/CUBE

### 2) 「日本パッケージデザイン大賞」巡回展・出版記念イベント

「JPDA日本パッケージデザイン大賞2017」入賞作品を展示する巡回展を以下の施設で実施。複数の地区でJPDA日本パッケージデザイン大賞のPRを行った。

- ・大阪成蹊大学 (平成29年5月)
- ・東京代官山 蔦屋書店 (平成29年7月) <出版記念イベントとして>
- ・富山市民プラザ : 「富山デザインフェア」 (平成29年9月29日～10月1日)
- ・東京 印刷博物館 : 「現代日本のパッケージ2017」 (平成29年9月23日～11月26日)

## (4) パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

### 1) セミナー事業

#### (a) 東日本

- ① 「アメリカのパッケージデザイン教育の今」

千葉大学とのパッケージデザイン共同ワークショップのために来日されたシンシナティー大学のP. チェンバレン先生とT.ティムニー先生を招いて、デザイン教育の実態を語っていただいた。シンシナティー大学ではプロダクトデザイン科とグラフィックデザイン科のコラボレーションによる領域横断型のアプローチが特徴であること、パッケージデザインのための発想・評価メソッドを活用していることなどを聞いたことが有意義であった。

開催日時：平成29年6月8日(木) 18:30~20:00

開催場所：The Gallery Too 本社3階

出席者数：69名（会員45名、一般2名、学生22名：内シンシナティー大学11名）

## ②「Talk Café 2017 若手デザイナーが語りつくすデザインの現在と未来」

パッケージ業界を担う若手や中堅をターゲットとした東日本 Talk Café は今回で11回目の開催となる。今回はポーラデザイン研究室の池端慶氏、ドラフトの川上恵莉子氏、GKグラフィックスの末藤智菜氏、ミンナの長谷川哲士氏4名をパネラーに「スキル」、「モチベーション」、「ビジョン」の3テーマを軸にデザインの現在と未来について語っていただいた。

トークの中では意見が調和したり、反したりするところが興味深かった。

開催日時：平成29年9月21日(木) 18:30~20:30

開催場所：アーツ千代田3331 1Fコミュニティースペース

出席者数：87名（会員72名、一般8名、学生7名）

## (b) 中日本

### ①愛知・岐阜地区

諸般の事情により開催しなかった。

### ②北陸地区：「富山デザインフェア 2017」及びデザインスクール

期間中「日本パッケージデザイン大賞作品展」と県内外のパッケージデザインを学ぶ学生を対象にした「パッケージデザインコンペティション」作品展を同時開催するとともに、昨年に引き続き若手デザイナーを育成するためのデザインスクールも開催したが、デザインスクールでは高校生のフレッシュなアイデアが講師陣をうならせていた。

開催日時：平成29年9月29日(金)~10月1日(日)

開催場所：富山市民プラザ

出席者数：73名（デザインスクール）

### ③北陸地区：「JPDA Talk Café 2017 in TOYAMA」

平成25年より、若手デザイナーの育成とパッケージデザイン振興を兼ねた勉強会「Talk Café」を開催しているが、今回は「暮らすひと暮らすところ」代表の戸田祐希利氏をパネリストにデザイナーが地域と関わり地場産業を活性化していく役割などを話していただいた。

開催日時：平成29年9月30日(土) 10:30~12:00

開催場所：富山市民プラザ 2階 ふれんどう

出席者数：8名（会員5名、学生3名）

## (c) 西日本

### ①勉強会 かたらう vol.1「食卓を飾る北欧のパッケージデザイン」

平成29年度は「かたらう」ことで絆を深め、信頼や思いやりのこころが生まれるきっかけになればよいという思いで、「かたらう」をテーマとした。

vol.1としては、御殿場テトラパック合同会社の加藤真弘氏を招き、日本と北欧のパッケージデザインの違いを語っていただいた。

開催日時：平成29年6月23日(金) 15:00～16:30

開催場所：メビック扇町

出席者数：52名（会員47名、一般5名）

② 勉強会 かたらう vol.2 「にかわを使ったこだわりの貼箱づくり」

2回目は京都の老舗紙器メーカーであるマルシゲ紙器の貼箱専門店「BOX & NEEDLE」代表・大西景子氏にワークショップと講演をお願いした。

パッケージデザイナーにとって貼箱は身近な存在だが、ワークショップで実際に「つくる」ことは予想以上に難しく貴重な体験となった。また、講演での多様化する現代ニーズに伝統技術を融合させ、これからの100年をしっかりと見据えている姿に、これからのパッケージについても深く考えさせられる刺激的な勉強会であった。

開催日時：平成29年9月8日(金) 14:00～18:00

開催場所：@Jimukinoueda bld. B1Fレンタルスペース

出席者数：33名（会員30名、一般3名）

d) 通常総会運営事業

第36回通常総会・記念講演会「パッケージデザイナーのコレクションと仕事」・交流会を5月に開催した。講演会は2月にご逝去された前副理事長田川雅一氏を偲んで、故人と関係が深かった株式会社イフカンパニーの高橋敏氏、株式会社犬塚デザイン事務所の犬塚達美氏、株式会社ベネディクトの津島智範氏の3名に理事長の加藤芳夫氏がモデレーターとなって、彼の仕事とコレクションについて語っていただいた。

開催日時：平成29年5月30日(火) 通常総会 15:30～16:45

記念講演会 17:00～18:30

交流会 19:00～20:30

開催場所：東京ガーデンパレス

出席者数：通常総会 45名（書面表決状 387名 委任状 0名）

記念講演会 126名（会員のみ）

交流会 106名（内招待者 10名）

2) デザイン保護事業

(a) ウェブサイトのデザイン保護コーナーの継続

今期は平成29年4月3日のvol.89「J-PlatPat を使いこなすための基礎知識・意匠の検索ポイント」からスタートし、平成30年3月21日のvol.101「第2回 特許庁意匠公報検索 (J-PlatPat) 実習セミナー」を掲載した。詳細についてはウェブサイトを確認ください。

(b) デザインの知的財産権保護に関する諸活動の推進

デザインの知的財産権保護に関する諸活動を推進すると共に、知財セミナーを2回開催した。また、D-8デザイン保護研究会への参加を継続した。

① パッケージデザイン知財セミナー「侵害事例から学ぶ知財のいろいろ」

今回は、レクシア特許法律事務所代表パートナーで弁理士である松井宏記氏を講師に迎え、知財法の基礎として、実際の侵害事例から、侵害事件に立ち向かうための適切な法律は何かを学んだ。また侵害事件に発展させないための対策も紹介された。

開催日時：平成29年6月1日(木) 18:30～20:30

開催場所：DIC(ディーアイシー)株式会社 本社2F 大会議室（中央区日本橋）

出席者数：84名（会員57名、一般17名、関係者10名）

② パッケージデザイン知財セミナー「意匠公報検索実習セミナー」

独立行政法人工業所有権情報・研修館知財情報部の宗 裕一郎氏を講師に、弁理士4名を補佐に加えて、委員会が準備した疑似提案デザインをJ-PlatPatを使って、似ていると思われる先行登録意匠を探し出していく作業を行った。

開催日時：平成30年2月16日(金) 14:00～17:00

出席者数：24名

開催場所：DIC(ディーアイシー)株式会社 本社 2F 大会議室 (中央区日本橋)

3) 教育事業

ASPaC WeeK 2017記念 JPDAセミナー「原 研哉の仕事」

12月のアスパックウィークにからめて株式会社日本デザインセンター代表取締役社長であるデザイン界の重鎮 原 研哉氏を招いて、「原 研哉の仕事」と題するセミナーを開催した。

通訳を付けてアスパック入賞者を招待したが、JPDA会員、一般の方々の出席が多く盛況であった。

終了後のアンケートでも、普段は語られない話が聞けて良かった等、大変高評価をいただいた。

開催日時：平成29年12月5日(火) 15:00～16:30

開催場所：日本デザインセンター13F (中央区銀座)

出席者数：117名 (会員70名、一般23名、学生2名、アスパック関係者22名)

(5) パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

1) 全国会議事業

「川から学べ JPDA しまんと 100人デザイン会議 2017」

昨年、全国会議からJPDAデザイン会議に名前を改め、2回目となる今回は四国高知県四万十市で開催された。今回は「四万十でニッポンの未来を考える」をテーマにローカル：梅原理事・グローバル：加藤理事長のトークバトルに、地元松山のデザイナー山内敏功氏も加わり、白熱したトークバトルとなった。結論として、対立軸があった方が面白いが、ローカルもグローバルも共に本質を見抜くことが肝要であるという示唆に富んだデザイン会議となった。

地元四万十市の全面的なご協力もあり、交流会は商店街に畳を敷いて大々的に行われた。まさに食・職・言葉の素晴らしい交流会であった。

開催日時：平成29年11月10日 (金)

開催場所：四万十市新ロイヤルホテル四万十

出席者数：デザイン会議 112名(会員100名、非会員12名)

交流会 201名 (デザイン会議出席者112名、地元参加者89名)

2) 新年交流事業

(a) 東日本

本年の新年交流会は昨年に引き続き、日比谷公園を眼下に見渡す「レストランアラスカ」で行った。

第一部は、株式会社わいず代表取締役 藤澤 優氏による「文楽の基礎を学ぶ」という講演で日頃あまり馴染みのない文楽について、その見方、楽しみ方を語っていただいた。その後の新年交流会では新会員紹介や名刺交換、加藤理事長による芸の披露等、大いに盛り上がった2時間であった。

開催日時：平成30年1月31日(水) 講演会 18:15～19:00 新年デザイン交換会19:00～21:00

開催場所：レストランアラスカ 日本プレスセンター店

出席者数：講演会 112名、交流会 190名 (会員173名、新入会員6名、招待11名)

(b) 中日本愛知・岐阜地区

諸般の事情により開催しなかった。

(c)西日本：勉強会 かたらう vol.3「現代美術二等兵の駄美術とデザイン」＋新年交流会  
第3回の勉強会は大阪出身のふじわらかつひと氏と籠谷シェーン氏のユニットによる唯一無二の創作活動を語っていただいた。お二人のクリエイションは本物であり、本気であり、本質をついているからこそ人に伝わるデザインになっており、それはわれわれのパッケージデザイン制作にも通じることを気づかせてもらった有意義な勉強会であった。

なお、勉強会終了後、参加者を中心とした新年交流会を持った。

開催日時：平成30年2月16日(金) 15:00～16:30

開催場所：メビック扇町

出席者数：勉強会 56名（会員48名、一般8名）、新年交流会 38名（会員のみ）

### 3) 国際交流事業

(a)「アジアパッケージデザイン会議（APD）台北 2017」

今回の APD 台北は台湾・韓国・上海・日本の4地域に加え、タイ PDA ソムチャナ会長の出席を得て、主催団体である台湾 APDA のオーエン新理事長の司会で、「感動—TOUCH」をテーマに開催された。初日は作品展示、他国の作品見学、作品審査に始まり、APD 代表者会議。2日目は終日 APD 会議と交流会。3日目は台北のデザイン会社4社の訪問（JPDAのみ）と盛りだくさんな内容であった。

代表者会議で次回の APD を2020年に JPDA60周年に合わせて日本で開催されることが確認された。

開催日時：平成29年10月28～30日

開催場所：台北・松山文創園區(クリエイティブセンター)

参加者：加藤理事長、伊藤副理事長を含め30名（日本のみ）

(b)2018年度の海外デザイン視察の準備

2018年の視察地候補として、成長・変化が著しいアジアに注目し、デザインハブを標榜するシンガポールと「大統領自らがパッケージに注力している」インドネシアを取り上げた。2018年秋～冬にかけての視察を企画している。

(c)アジア学生パッケージデザインコンペティションに JPDA 賞を設け優秀作品を顕彰

独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生交流プロジェクトのパッケージデザインコンペティションを、JPDA が持つノウハウを活用し作品審査及び贈賞式等の企画・運営を行い、平成29年12月3日の贈賞式では、JPDA 賞を設け優秀作品を顕彰した。

## (6) 出版事業

(a) 年鑑出版

大賞2点・金賞13点・銀賞18点・銅賞19点・審査員特別賞4点を含めた入賞・入選作品451点を掲載した「年鑑日本のパッケージデザイン2017」を平成29年5月に発刊した。アートディレクションは株式会社 ALL RIGHTの高田唯氏と山田智美氏に依頼した。

(b) パッケージデザイン・インデックス出版

最新の日本のパッケージデザインに関する作品と技術を網羅し、パッケージとブランディングに関わる全ての人々に役立つ作品集「Package Design Index2018」は、今回からWEBからの応募に切替えたが、最終的に169社、382ページの掲載となった。現在平成30年5月発刊に向けた制作が進んでいる。

## II. 収益事業報告

### (1) 収益事業

独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生交流プロジェクトを受託し、JPDA が永

く培ってきたノウハウを活用して学生のパッケージデザインコンペティションに関する作品審査及び贈賞式等の企画・運営を推進した。29年度は、JPDA 国際交流委員会に加え、国内交流委員会、教育委員会、展覧会委員会の支援の下、地域を東アジアに拡大してから3回目のパッケージデザインコンペティション&贈賞式及び入賞作品の巡回展を開催した。今回は日本・韓国・中国・台湾・タイ・インドネシア・シンガポール・マレーシア・ベトナム9カ国の学生に参加を呼びかけたが、とくに12月のアスパックウィーク後半に東京グッドデザイン丸の内で開催された、入賞作品を集めた展覧会は6日間で4,000名に迫る来場者を得て成功裏に終了した。

### III. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

#### (a) 経済産業省

平成29年7月19日 経産省担当官1名が、今後のJapan Designersの運用についての打合せのため来社し、加藤理事長、中越理事、佐野理事、渡邊事務局長が面談

#### (b) 平成29年11月14日福島県農林水産部農産物物流課担当官2名が来社し、渡邊事務局長が面談

#### (c) 日本デザイン団体協議会 (D-8)

平成29年4月13日 28年度第7回デザイン保護研究会に小川(亮)理事、丸山委員長出席

平成29年4月26日 JDM委員会に入江(青木)理事、信藤理事、柴野委員出席

平成29年6月26日 JDM委員会に柴野委員、松田委員出席

平成29年9月20日 JDM委員会に入江(青木)理事、信藤理事、柴野委員出席

平成29年10月12日 29年度第1回デザイン保護研究会に丸山委員長出席

平成29年10月25日 JDM委員会に信藤理事、柴野委員出席

平成29年11月21日 JDM委員会に信藤理事、松田委員出席

平成29年12月6日 29年度第2回デザイン保護研究会に丸山委員長、時田委員出席

平成29年12月19日 JDM委員会に信藤理事、柴野委員、松田委員出席

平成30年2月14日 JDM委員会に入江(青木)理事、柴野委員、松田委員出席

平成30年2月21日 29年度第3回デザイン保護研究会に時田委員出席

#### (d) 外部団体への事業協力

##### ①公益社団法人日本包装技術協会

平成29年6月15日 「2017年日本パッケージングコンテスト」審査会に信藤理事が代理出席し審査協力

平成29年8月30日 「2017年日本パッケージングコンテスト」表彰式に伊藤副理事長が出席

##### ②一般社団法人日本印刷産業連合会

平成29年4月18日 「第56回2017年ジャパンパッケージングコンペティション」表彰式に加藤理事長が出席し、JPDA賞を授与

平成30年2月2日 「第57回2018年ジャパンパッケージングコンペティション」審査会に加藤理事長が出席し審査協力

##### ③富山デザインフェア実行委員会

平成29年10月1日 「富山デザインフェア」に渡邊事務局長が出席し、畝野理事、川淵委員が講師として講演

##### ④公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会

平成29年12月12日 レセプションに加藤理事長が出席

##### ⑤公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

平成29年6月3日 総会後のシンポジウム、交流会に伊藤副理事長が出席

平成29年7月25日 「中国DIAシンポジウム」に伊藤副理事長が出席

平成30年1月19日 「JIDAデザインミュージアムセレクション」フォーラムに伊藤副理事長が出席

- ⑥公益社団法人日本インテリアデザイナー協会  
平成 29 年 6 月 2 日 総会後の交流会に渡邊事務局長が代理出席
- ⑦一般社団法人日本空間デザイン協会  
平成 29 年 6 月 27 日 セミナー、パーティーに加藤理事長、渡邊事務局長が出席  
平成 30 年 2 月 15 日 シンポジウムに加藤理事長、伊藤副理事長が出席
- ⑧公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会  
平成 29 年 6 月 23 日 総会、JAGDA 賞授賞式、交流会に加藤理事長が出席
- ⑨NPO 日本タイポグラフィ協会  
平成 29 年 4 月 21 日 2017 年度 NPO タイポグラフィ協会贈賞式に山崎前事務局長が代理出席
- ⑩一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会  
平成 29 年 6 月 21 日 講演会に渡邊事務局長が代理出席
- ⑪一般社団法人日本包装機械工業会  
平成 29 年 10 月 4 日 「JAPAN PACK 2017」で加藤理事長が出席し、講師として講演
- ⑫毎日新聞社広告局  
平成 29 年 4 月 25 日 「毎日デザイン大賞」授賞式に加藤理事長が出席 (JPDA 梅原理事が特別賞受賞)
- ⑬東北経済産業局  
平成 29 年 8 月 22 日 「おいしい東北パッケージデザイン展 2017」審査会に加藤理事長が出席し審査協力  
平成 29 年 12 月 14 日 「おいしい東北パッケージデザイン展 2017」表彰式、フォーラムに加藤理事長が出席
- ⑭山梨県産業技術センター  
平成 30 年 2 月 20 日 P.デザインセミナーに加藤理事長が講師として講演
- ⑮凸版印刷株式会社印刷博物館  
平成 29 年 9 月 22 日 「現代日本のパッケージ 2017」オープニングレセプションに加藤理事長、伊藤副理事長が出席  
平成 29 年 11 月 5 日 「現代日本のパッケージ 2017」トークセッションにモデレーターとして加藤理事長が講演  
平成 29 年 11 月 30 日 「世界ブックデザイン」レセプションに加藤理事長が出席
- ⑯東京アートディレクターズクラブ  
平成 29 年 12 月 12 日 「ADC 賞」授賞パーティーに伊藤副理事長が出席
- ⑰中部デザイン協会  
平成 30 年 2 月 17 日 講演会に加藤理事長が講師として講演
- ⑱海外産業人材育成会 (AOTS)  
平成 30 年 3 月 7 日～10 日 バンコックパッケージデザインセミナーに加藤理事長が出席し、講師として講演

## IV. 名義関連

### (1) 後援名義

- ・「World Interiors Week 2017 in Japan」(主催：公益社団法人インテリアデザイナー協会)
- ・「インテリアライフスタイル」(主催：メサゴ・メッセフランクフルト株式会社)
- ・「2017 年日本パッケージングコンテスト」(主催：公益社団法人日本包装技術協会)
- ・「pakection!世界のPB展」(主催：株式会社竹尾)
- ・「第 19 回福岡デザインアワード」(主催：福岡県産業デザイン協議会)
- ・「学生照明展 2018」(主催：学生照明展実行委員会)
- ・「第 30 回公募 2018 ジュエリー展」(主催：公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会)



- ・「おいしい東北パッケージデザイン展 2017」(主催：東北経済産業局)
- ・「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」(主催：メサゴ・メッセフランクフルト株式会社)
- ・「第 57 回 2018 年ジャパンパッケージングコンペティション」(主催：一般社団法人日本印刷産業連合会)
- ・「コンテンツ東京 2018」(主催：リード・エグジビション・ジャパン株式会社)
- ・「知的財産権制度と賢い付き合い方」セミナー (主催：一般財団法人大阪デザインセンター)
- ・「The Day Beyond the KU/KAN Design」(主催：空間デザイン機構)

## (2) 協賛名義

- ・「第 84 回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2017」(主催：株式会社ビジネスガイド社)
- ・「第 84 回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2017 LIFE&DESIGN」(主催：株式会社ビジネスガイド社)
- ・「第 47 回日本プロモーション・マーケティング協会展」(主催：日本プロモーション・マーケティング協会)
- ・「JAPAN PACK 2017」(主催：一般社団法人日本包装機械工業会)
- ・「第 28 回西日本食品産業創造展'18」(主催：日刊工業新聞社西部支社)
- ・「TOKYO PACK 2018-2018 東京国際包装展」(主催：公益社団法人日本包装技術協会)
- ・「page2018」(主催：公益社団法人日本印刷技術協会)
- ・「第 85 回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2018」(主催：株式会社ビジネスガイド社)
- ・「第 85 回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2018 LIFE&DESIGN」(主催：株式会社ビジネスガイド社)

## (3) 共催名義

- ・展覧会「現代日本のパッケージ 2017」(主催：凸版印刷株式会社印刷博物館)
- ・「富山デザインフェア 2017」(主催：富山デザインフェア実行委員会)

## (4) 協力名義

- ・「光と音のシンフォニー ライティング・オブジェ 2017」(主催：ライティング・オブジェ制作委員会)

## V. 会議開催状況

(1) 総会 (第 36 回)	平成 29 年 5 月	東京都文京区 東京ガーデンパレス・会議室
(2) 臨時総会	開催無し	
(3) 定例理事会	平成 29 年 5 月	東京都文京区 東京ガーデンパレス・会議室
	平成 29 年 7 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 29 年 9 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 29 年 11 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 30 年 1 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 30 年 3 月	文京シビックセンター・会議室
(4) 臨時理事会	平成 29 年 4 月	文京シビックセンター・会議室
(5) 会員入会審査	平成 29 年 4 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 29 年 5 月	東京都文京区 東京ガーデンパレス・会議室
	平成 29 年 7 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 29 年 9 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 29 年 11 月	文京シビックセンター・会議室
	平成 30 年 1 月	文京シビックセンター・会議室

- (6) 各委員会 平成 29 年度中 国内交流、国際交流、コンペティション、展覧会、出版、教育、広報、インターネット、総務、アーカイブ、デザイン保護、調査研究、地域の各事業で委員会開催。

## VI. 平成 29 年度会員異動状況

会員別	平成 29 年 3 月 31 日	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日		平成 30 年 3 月 31 日
		入会	退会	
法人会員	232	12	5	239
個人会員	565	26	40	551
賛助会員	3	1	1	3
合計	800	39	46	793

### 報告事項

- (1) 平成 29 年 6 月 21 日 内閣総理大臣あて、認定法第 22 条第 1 項の規定による平成 27 年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 平成 30 年 3 月 28 日 内閣府大臣官房公益法人行政担当室長あて、認定法第 21 条第 1 項の規定に係わる平成 30 年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)